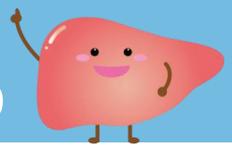
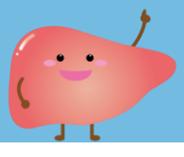


# 2025年度 肝臓病教室 開催報告

2025年6月9日（月） 15：00～16：00



テーマ 「肝疾患における検査の見方」

第一部 「画像検査編」 講師：広島大学病院 放射線診断科 医師 近藤 翔太

第二部 「血液検査編」 講師：広島大学病院 診療支援部臨床検査部門  
臨床検査技師 小林 晴菜



### 肝臓の画像検査についての疑問

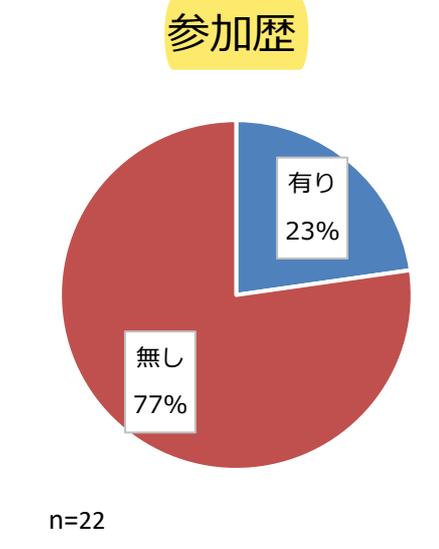
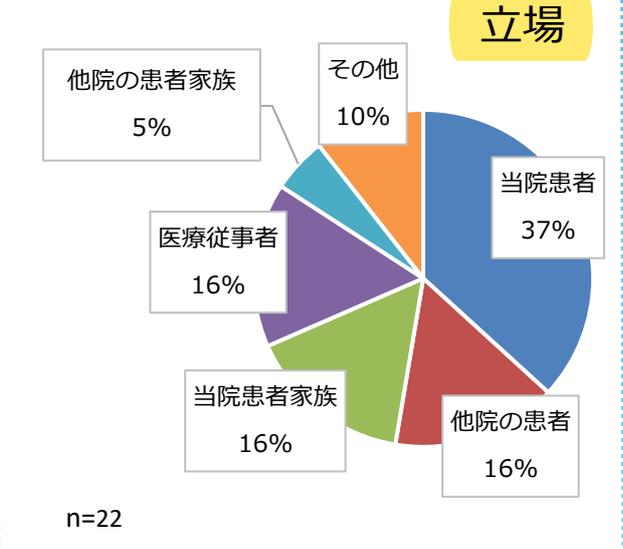
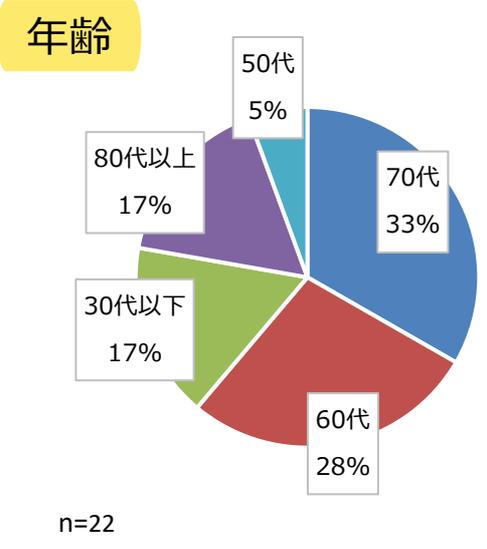
- 一つだけでなく、どうして複数の検査が必要ですか？
- 造影剤を使うことでどんなことが分かりますか？
- CT検査で被ばくしても大丈夫ですか？



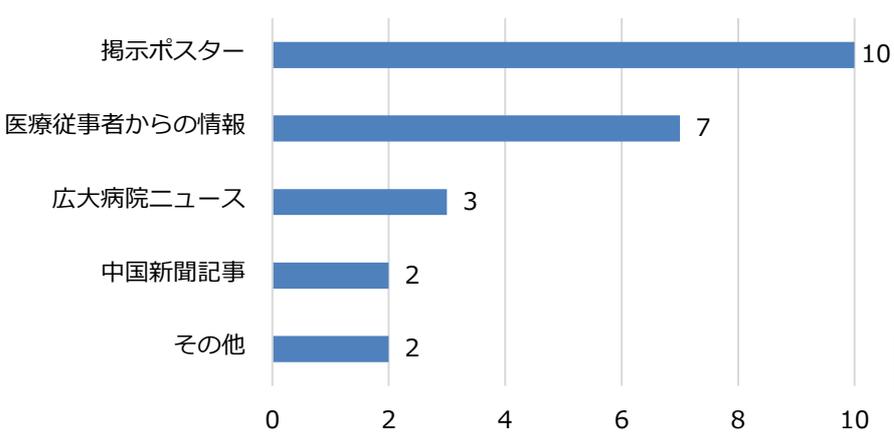
### 肝臓の機能

代謝	糖・たんぱく質・脂肪を体内で使える形に変えて貯蔵し、必要なときにエネルギーのもととして供給する
解毒作用	アルコールや薬、アンモニア、老廃物など、有害な物質を分解し、からだに影響を及ぼさない物質に作り変える
胆汁の生成・分泌	肝臓でつくられた老廃物を流す「胆汁」を生成・分泌する

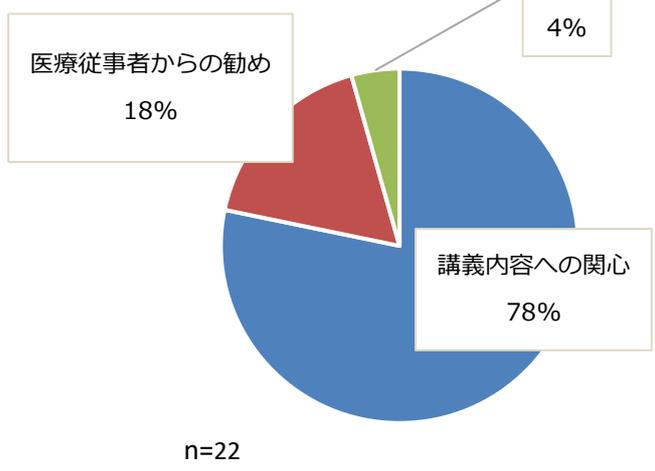
参加人数：28名 アンケート回答者数：22名



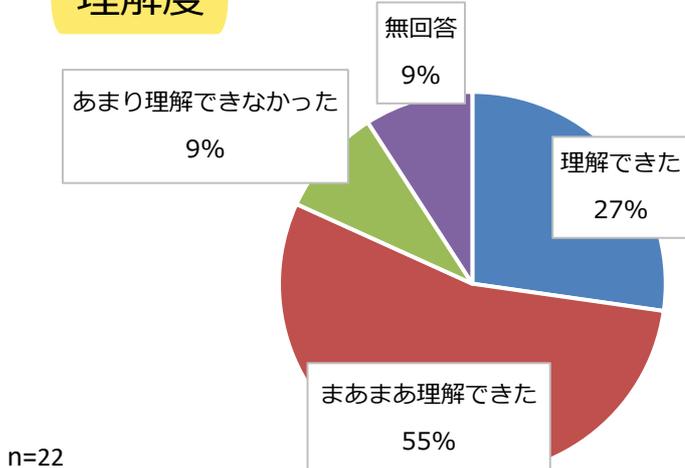
### 知ったきっかけ（複数回答 n=24）



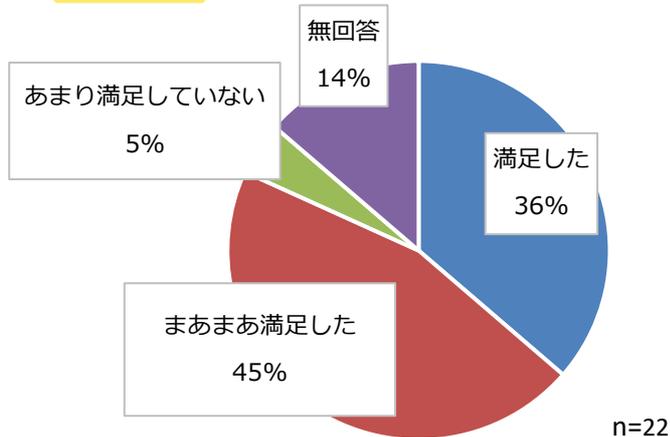
### 参加動機



## 理解度

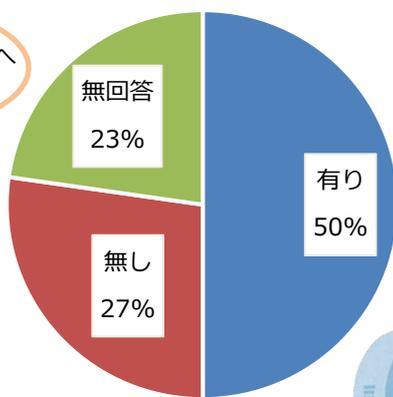


## 満足度



## 肝疾患に関する検査への不安や疑問の有無

患者さんと家族の方へ聞きました！



## 参加者からの感想

- ・肝機能検査法など基本的なことの説明もあり、知識を得られてよかった。
- ・血液検査のアンモニア値について意識していたが、黄疸の症状はビリルビンに注目することが分かった。
- ・画像に関してはプロに教えていただく機会がないため、大変勉強になった。
- ・専門的な言葉の理解が難しかった。

今回は「肝疾患における検査の見方」と題して画像検査と血液検査の2つの側面から、ご講演いただきました

画像検査編では、実際に寄せられる患者さんからの疑問をもとに、検査画像を示しながら解説していただきました。また、血液検査編では、肝臓の状態を反映させる検査項目について、肝臓の働きに沿って検査値を読み解く方法を丁寧に説明していただきました。

アンケート結果からは、肝疾患の検査に関して不安や疑問を抱えている患者・家族の方が半数にのぼることが明らかとなりました。今回の講演内容により、自身の採血結果や画像検査について興味を示し理解に繋がったと回答された方がいた一方で、「専門用語が難しかった」「一度では理解しきれなかった」といった声もあり、不安の解消に繋がらなかった方もおられることがうかがえました。今回の肝臓病教室は、従来より参加者が多く、検査に対する関心度の高さが感じられましたが、内容の理解が十分ではなかったという声も多く、今後、参加者の皆さんの理解が深まるような肝臓病教室の運営を心掛けるとともに、日常診療においても、医療従事者からの説明を補足できるような検査・治療に関する資料の充実が求められているものと考えております。大変貴重なご意見をありがとうございました。

更に、アンケートでは「脂肪肝に関する情報」や「ウイルス性肝炎治療の最新情報」についての講義を望むご意見もあり、今後、運営の参考とさせていただきます。

引き続き、参加者の不安や疑問に応えられる情報提供を目指してまいります。次回も、皆様のご参加をお待ちしております。

## 次回の肝臓病教室【現地開催】

日時：2025年10月20日（月） 15：00～16：00

場所：広島大学病院構内 臨床管理棟3階 会議室3・4

テーマ：「肝がんについて」（仮） 講師：広島大学病院 消化器内科 医師 藤野 初江

「薬の副作用について」（仮） 講師：広島大学病院 薬剤部 薬剤師 滝沢 大吾

（詳細については後日HP上でお知らせします）